

穂刈 享 研究会

— (ミクロ経済学・ゲーム理論) —

1. 研究分野

ゲーム理論には、非協力ゲームの理論と協力ゲームの理論がありますが、私の専門分野は協力ゲームのほうです。この分野では、何人かの人たちが協力することで得られる成果をどのように分けるかという問題を、非常に抽象的な設定の下で、数学的に分析します。

研究会では例年、ミクロ経済学またはゲーム理論のテキストの輪読を行っています。来年度は

伊藤秀史・小林 創・宮原泰之『組織の経済学』有斐閣 2019年

を使用する予定です。

卒業論文のテーマはゲーム理論でなければならないというわけではありません。参考までにこれまでの卒業論文のタイトルをいくつか挙げておきます。

卒業論文のタイトル

- ・ 必要悪としての利己的人間
- ・ ゲーム理論を用いた詰将棋の考察
- ・ ゲーム理論におけるプロ野球の最適戦略分析
- ・ ノートの貸し借りと人間関係： ゲーム理論的考察
- ・ 「半官半民」という戦略： 競争と社会的厚生観点から
- ・ 個人の利他性と成果主義について
- ・ 株主が企業に与える影響とは： 株主と経営者の関係性
- ・ 劇場型政治と中位投票者定理
- ・ 日本とアメリカの新卒採用の比較： 学歴社会における企業と労働者のミスマッチ

- ・ 空港における離陸便再編成の最適戦略について
- ・ カウンティングを用いたブラックジャックの最適戦略の理論的考察

2. 学生への要望

基本的に毎回出席して下さい。

3. 選考について

1 募集人数

A 日程：5 名程度

B 日程：10 名程度

2 選考内容 筆記試験（マイクロ経済学＋数学、持ち込み不可）および面接。成績表の提出は必要ありません。

3 他学部入ゼミ：可 PEARL 生受入れの可否：可

4 選考基準

筆記試験では、答えが正しいかどうかよりも、経済学的な考え方、数学的な考え方ができているかどうかを重視します。